

今月のウインドウデザインを紹介

WINDOW & vol.04 DESIGN

取材・文／編集部

協力／日本空間デザイン協会 仁木洋子

撮影／大瀧 格(P.194) 藤本一貴(P.195)

Beauty Salon

POLA THE BEAUTY GINZA

ディレクション／ポーラ

企画・デザイン／ノムラデュオ 三浦 卓

アーティスト／ヨシカワゴエモン

期間／2013年7月17日～8月20日

「ポーラ ザ ビューティ 銀座店」のウィンドウでは、アーティスト・ヨシカワゴエモン氏によるアートワークが“浮遊”した。

「店内で販売されるサマー関連の商品に連動して、清涼感や浮遊感をテーマにしたウィンドウを依頼されました」と語るのは、ノムラデュオ デザイン本部の山田祐照氏。「ポーラ ザ ビューティ 銀座店」では、もともと日本の伝統的な技術を見せる展示や、アーティストとコラボレーションしたウィンドウディスプレイを展開してきた。今回は、与えられたテーマに沿って“雲”をイメージしたアートを、スポンジなどを使った作品を生み出すヨシカワゴエモン氏に依頼したという。この大小5つの“雲”のオブジェは、梱包材などに用いられる発泡ポリエチレンのチューブを接着して形づくられ、下部に陳列された商品へ視線を誘引するため、上下に流れるように配置されている。また、オブジェはチューブ素材による弾性があるため、吊る際に形が崩れないよう注意したという。照明は、太陽の日差しを感じさせる光と影をつくることで、夏を想起させる演出がなされた。「離れて見ると、どうやって形づくられているか、どんな質感なのか気になる作品です。道行く人が近付いて驚きを感じるものになったのではないのでしょうか」(山田氏)

shop data

所在地：東京都中央区銀座1丁目7-7 ポーラ銀座ビル
主な仕上げ材：発泡ポリエチレンチューブ



1. 1.12 mm径の白い発泡ポリエチレンチューブだけで構成したオブジェ

2. 店内の商品、空間の雰囲気に合わせて、白いオブジェとなった。チューブに弾性があるため、型が崩れないよう注意しながら形づくられた

